

## 新型コロナウイルス感染拡大、 第5波について

茨城県保険医協会副会長 飯坂 章

東京五輪大会の1年延期を決める際に当時の首相が唱えた「人類が新型コロナウイルスに打ち勝った証し」。これが現実的に無理となると、開催を巡って世論は割れました。開催の意義は「安全・安心の大会にする」から、さらには「感染対策を徹底する」と変わっていった、最後まで開催の意義について政府と東京都のていねいな説明はされませんでした。生まれれば、日本中が熱狂して、開催に反対していたことも忘れる。IOC 幹部や放映権を握るテレビ局などが、東京五輪開幕前にそうそぶき、そして予言通り、熱狂のうちに閉幕しました。東京五輪は、成功だったのか？ 問題はこのような時期に、東京で五輪を開催したことだと思います。東京に緊急事態宣言が発令中のゴリ押し五輪開催は、第5次感染拡大という巨大な負の遺産を残

して8月8日に閉幕しました。

8月13日、新型コロナウイルスの新規感染者は1日当たり全国で2万人を超し重症者も最多の1,478人となり、感染力の強いインド由来の「デルタ株」の流行で感染の急拡大が続いています。新型コロナウイルスの変異株で南米ペルー由来とされる「ラムダ株」の感染者として国内で7月に確認された女性は東京五輪関係者で、五輪開催中は隠して五輪付度と言われています。五輪開催とバツハ会長の銀ブラは自己判断で政府と都の人流の制限を減らせという、さらなる願いは全く効果の上がないものとなっています。最後はワクチン接種と治療薬頼みのようです。

最後に医療従事者のコロナワクチン接種については、医療従事者から患者さんにうつしてはいけないということ。私自身は全員が接種すべきだと思う。ただし接種できない人もいるのでそのことに対する許容性は必要です。医療従事者は患者さんに対しても同じ態度を取りかねないので、注意すべきだと思います。患者さんの命を守ることが医療者の使命であるという職業倫理感を大切にしたいです。

友人が1週間徹夜でコロナ関連の国内・海外を含めた文献など情報収集し出した結論は、今後3年たってもコロナ禍の収束はないそうです。あくまで個人の予想です。